

達成状況評価書(平成24年度)

部局名:基礎工学研究科・基礎工学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、国際化拠点整備事業（大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）へ新たに5科目を提供するとともに、博士課程教育リーディングプログラム「インタラクティブ物質科学・カデットプログラム」の採択への貢献、留学生向けの部局教育プログラム及び奨学金に関するパンフレットの中国語版の作成、インターンシップの実施など積極的に取り組み、大学の年度計画の達成に貢献している。また、新たに企画したタイ海外研修にオーナー学部学生（優秀な2年次学生）9名が参加したほか、障害をもつ学生の学習支援のハード面として新たな設備、スペースと機器の整備を、ソフト面として特別研究履修に於ける安全確保のための研究指導補助者を配置するなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、紫綬褒章の授与、日本学術振興会賞の受賞など特筆すべき成果を上げるとともに、（独）日本学術振興会の二国間交流事業・国際共同研究事業・研究拠点形成事業の実施、グローバルCOEプログラムの推進など、積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、カリフォルニア大学バークレー校、トロント大学、スウェーデン王立工科大学、シンガポール国立大学との間で、Engineering Science に関わる国際交流を目指す国際コンソーシアム“International Engineering Science Consortium”（基礎工学国際コンソーシアム）を設立するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。また、入試広報活動を行うため「基礎工学研究科ハノイ学術交流オフィス」を新規開設するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、間接経費等を、研究科長のリーダーシップの下に基礎工学研究科独自の複合学際研究領域支援（未来研究ラボシステム）やプロジェクト研究の基盤整備、競争的資金獲得推進経費に充当するなど、適切に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、国際化拠点整備事業（大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）、博士課程教育リーディングプログラム、（独）日本学術振興会の二国間交流事業・国際共同研究事業・研究拠点形成事業の実施、グローバルCOEプログラムの推進など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>